

海岸林再生を目指し、クロマツの種をまく被災農家ら



海岸林再生へ種まき

地元被災農家らでつくる「名取市海岸再生の会」のメンバー20人が参加した。地元農家から提供された畑約0.6畧

の環。
海岸林再生プロジェクト

公益財団法人「オイスカ」(東京)が同市で進める

の被災農家らが3月30日、同市増田の畑にクロマツの種をまいた。公

生を目標として、名取市

東日本大震災による津波で失われた海岸林の再生を目標として、名取市

名取のクロマツの苗木生産

再生プロジェクトは、海岸林の再生に必要な苗木を育て、マツイ

をまいた。病気を防ぐため、土壌に堆肥を施し、消毒液も散布した。

ムシに強いとされる抵抗性クロマツの種1.5畧をまいた。病気を防ぐため、土壌に堆肥を施し、消毒液も散布した。

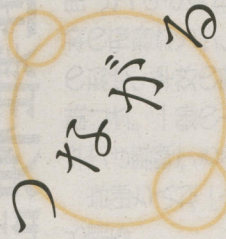
を育苗場とし、マツイ

言田俊彦課長は「ようやくプロジェクトの第一歩を踏み出すことができた。海岸林再生を通して被災地の復興につなげたい」と話した。

る。
2017年までに計20畧の種をまき、19年をめ

木を生産とともに、育苗に関する農家の生計支援を目的としている。

木を生産とともに、育苗



河北新報

4月4日(水)

河北新報社

仙台市青葉区五橋1-2-28
(郵便番号 980-8660)

「東」は、未来

